

11/26 みそ作りのいろはを学ぶ ウイメンズネットワーク料理教室

ウイメンズネットワーク洞爺湖（青木佐智子代表）の料理教室が、虻田ふれ合いセンターで行われました。主婦など約30人が参加し、洞爺産の大豆を使ってみそを作りました。柔らかくなるまで煮た大豆にこうじを混ぜて団子状にこねた後、みそ樽で保管。食べられるまで1年ほどの熟成期間が必要のため、保管場所に移しました。他に昆布料理を作り、コロナ禍のため各自で家に持ち帰って味わいました。



みそ作りをする参加者

11/22 「北海道・北東北の縄文遺跡群」 世界遺産登録記念式典

北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を記念し、文化庁主催の記念式典がオンライン上で行われました。都倉俊一長官、鈴木直道知事が祝辞を述べ、参加した首長があいさつしました。真屋町長は「洞爺湖有珠山ジオパークと合わせて二つのユネスコの認定を受けた資産ができました。長い年月がかかりましたが喜びもひとしおです」と感慨深く語りました。



オンライン式典に参加する真屋町長

12/2 北海道・北東北の縄文遺跡群 世界文化遺産登録記念 「史跡 入江・高砂貝塚」オリジナルフレーム切手贈呈式

日本郵便北海道支社が、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を記念したオリジナルフレーム切手を町に寄贈しました。フレーム切手は、縄文遺跡群の構成資産となる入江・高砂貝塚の写真が使われ、同支社が発売しました。代表して虻田郵便局の尾形光平局長が役場を訪れ、真屋町長に手渡しました。尾形局長は「地域の人に貝塚を知ってもらおうきっかけになればうれしいです」と話していました。



真屋町長にフレーム切手を手渡す尾形局長（右）

11/26 有限会社佐々木ファーム コープさっぽろ農業賞特別賞受賞

有限会社佐々木ファーム（佐々木麻紀代表取締役）がコープさっぽろ農業賞特別賞を受賞しました。同ファームは2013年から全面積を無肥料無農薬による自然栽培に切り替え、人参・ごぼう・ピーツなど約60種類の野菜を栽培。自然環境に配慮し未来の農業を見据えた取り組みが高い評価を受けました。佐々木さんは「自然栽培の野菜を知っていただく機会が増え、うれしいです」と話しました。



特別賞を受賞した代表取締役佐々木さん

12/6 町民ミニバレー大会
チーム「修学旅行」優勝

地 域住民の交流を目的に町民ミニバレー大会（洞爺湖町体育振興連絡会主催）が洞爺中学校体育館で開催され、チーム「修学旅行」が優勝しました。

参加したのは町内12チーム。1ブロック4チームの3ブロックで予選リーグを行い、各ブロックの1〜4位ごとに決勝ブロックで勝敗を競いました。

コロナウイルス感染症対策として、マスク着用や30分ごとに換気を行いながら、心地よい汗を流していました。



優勝したチーム「修学旅行」

12/4 J R北海道とコラボ
特急北斗で入江・高砂貝塚をPR

J R北海道が、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を記念し、特別仕様の特急北斗ラベンダー編成を運行しました。車両内には、入江・高砂貝塚など縄文遺跡群を構成する資産のポスターやパネルを新たに掲示。町の担当者が伊達紋別駅から洞爺駅まで乗り込み、乗客にパンフレットなどを配りました。

洞爺駅には町のマスコット「洞龍くん」も駆け付け、乗客に縄文の魅力を紹介しました。



乗客に縄文遺跡群をPRする洞龍くと町職員

12/7 自然災害発生時に支援を
町社協と洞爺ライオンズクラブが協定

洞 爺湖町社会福祉協議会と洞爺ライオンズクラブ（洞爺LC）が、災害ボランティアセンター（災害VC）支援に関する協定を締結しました。この協定により、町社協は自然災害の発生時、災害VCで使う車両や資機材、人的支援の提供を要請できるようにします。

洞爺LCの目良浩一会長は「災害時は、ボランティアが円滑に活動できるように車の手配や食料の確保を行いたいです」と話していました。



協定を締結した目良会長(左)と町社協の沼田副会長(右)

12/7 税についての作文
虻田中学生2人が入選

令 和3年度中学生の「税についての作文」（全国納税貯蓄組合連合会、国税庁主催）で、笠井萌加さん（虻田中3年）が洞爺湖町長賞を受賞し、皆見教育長から表彰状と記念品が手渡されました。また、藤野百花さん（同1年）が室蘭税務署長賞を受賞し、福地卓巳室蘭税務署長から表彰状と記念品が手渡されました。

受賞した2人は、「賞をもらうことができ、とてもうれしです」と話しました。



洞爺湖町長賞受賞笠井さん(中央)と室蘭税務署長賞受賞藤野さん(右から2人目)